

こどもの日本語ライブラリ (JYL プロジェクト) について

「定住外国人の子ども就学支援事業」における子どもの日本語教育支援活動の一環として、学習資料等を提供するために発足したのが「年少者日本語学習資料開発・普及事業 (JYL プロジェクト、Japanese for Young Learners)」です。

事業の主な目的は、オンラインで利用できる年少者日本語学習支援のための指導計画案と進捗度チェック、語彙・教材検索などの情報を、当ウェブサイト「こどもの日本語ライブラリ」を通して提供することです。

URL: <http://www.kodomo-kotoba.info/>

トップメニュー

JYL Project
こどもの日本語ライブラリ ユーザーログイン

お知らせ 2011年10月5日 サイトをリニューアルしました。
初期日本語学習のアイデア満載の指導計画例、ダウンロード可能な教材も拡充しました。
新設のビデオライブラリもわかりやすい指導上のヒントとしてお役立てください。

指導計画例
学齢に応じた指導計画モデルです。会話編ならびに文字語彙編で構成されています。

ビデオライブラリ
さまざまなテーマ毎に指導方法や指導上の留意事項等を動画でご覧頂けます。

基本検索
語彙、文例、教材、指導事例が検索できます。
教材は、ダウンロードし利用できる紙カードやワークシートも提供しています。

日本語指導Q&A
指導現場で必要とされるノウハウ、課題に対する対処法等の情報共有を目指します。

JYL Project
JYL Projectとは | 「こどもの日本語ライブラリ」活用ガイド | お問い合わせ
(videolibrary.html)

ビデオライブラリ

トップ画面から「ビデオライブラリ」をクリックすると下記ビデオメニューの画面となります。

**JYL Project**
こどもの日本語ライブラリユーザーログイン

HOME指導計画例ビデオライブラリ基本検索日本語指導Q&A

ビデオライブラリ

さまざまなテーマで指導方法や指導上の留意事項等を動画でわかりやすく提供します。

No	テーマ	内容・ねらい等	再生時間	
1	低学年の子どもの語彙調査「語彙調査の説明」	●子ども、テスター、記録者の座る位置に配慮し、子どもにストレスを与えないように注意する。 ●静かな穏やかな環境で行う。	0:58	▶ PLAY
2	低学年の子どもの語彙調査「語彙調査の方法」	●ことば(もの名前)が言えないが続く場合、ストレスを与える。聞いて理解しているかを確認する	2:25	▶ PLAY
3	低学年の子どもの語彙調査 数の認知チェック	●理解している語彙が少なくても数、数字を理解し、数えられるかを試す	1:59	▶ PLAY
4	初期基本指導法 はじめて日本語を学ぶ-1	●ものの名前だけを言う。他のことばを加えない	1:09	▶ PLAY
5	初期基本指導法 はじめて日本語を学ぶ-2	●聞いて理解することから、発話へと導く	1:05	▶ PLAY
6	初期基本指導法 はじめて日本語を学ぶ-3	●聞いて理解することから、発話へと導く	0:54	▶ PLAY
7	初期基本指導法 絵カード	●絵カードを色々な方法で活用し、子どものレベルに応じた学習をさせる	2:30	▶ PLAY
8	発音・リズム 音声指導の知識 ヘルポトナル法の考え方	●先ず日本語らしいイントネーション、リズムを身につけさせることが重要	2:48	▶ PLAY
9	発音・リズム ヘルポトナル法実践例-1 「たこたこあがれ」	●ひとつひとつの音でなく「まとまり」「ひと固まり」として音を捉えるように指導する	1:45	▶ PLAY
10	発音・リズム ヘルポトナル法実践例-2 「ずいずいずこるぼし」	●わらべ歌の2拍子、4拍子にのせることで子どもたちが日本語のリズムを体得する	1:18	▶ PLAY
11	発音・リズム ビンゴゲーム	●遊びながら促音、拗音、長音の発音を身に付けさせる	2:07	▶ PLAY
12	発音・リズム 音声指導の知識 一まとめ	●先ず日本語らしいイントネーション、リズムを身につけさせることが重要 ●マイナスイメージをもたれるような発音は直す ●緊張するか、力を抜くかで日本語の音は出やすくなる	4:19	▶ PLAY
13	文字 ひらがな 一文字パズル	●ひらがなパズルを使い、日本語の文字の特徴を理解させる	1:37	▶ PLAY

指導計画例（詳細：学習指導案）

トップ画面から「指導計画例」をクリックすると指導計画例メニューの表示となります。小学校低学年会話編を選択し、一覧より「詳細」をクリックすると、詳細学習指導案（下記）が表示されます。

例 小学校低学年 会話編

The screenshot shows the JYL Project website interface. The main content area displays the lesson plan details for '小学生低学年' (Elementary School Lower Grade) and '30時間' (30 hours), specifically the '会話編' (Conversation Edition). The page includes a navigation menu with 'HOME', '指導計画例' (Lesson Plan Examples), 'ビデオライブラリ' (Video Library), '基本検索' (Basic Search), and '日本語指導Q&A' (Japanese Language Instruction Q&A). The lesson plan details are as follows:

毎回取り入れる内容	「おはようございます。(視診をしながら)元気ですか。今日は×月×日×曜日です。今日の天気は？そうですね。晴れです」 1～20までの数字カードを示して、一緒に読む。 あいさつの絵カードを示して、「言ってください」「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」「ありがとう」「ごめんなさい」	
トピック等	病気やけが	
目標	体の不調やけがについて先生に伝える表現を学ぶ。学校を休む時は連絡することがわかる。	
	活動内容	講師 学習者
	<導入> 泣いている子どものペープサート(紙で作った人形)を登場させる(ペープサートの作り方ビデオ参照。あるいはジェスチャー、ぬいぐるみ、絵カード、紙芝居などで代用する)。 心配そうな教師のペープサートを動かしながら、「エリスくん、どうしたの」と言う。子ども「いたいです」、教師「どこが痛い?」、子ども「ここがいたいです」(ペープサートを裏返し、おなかを押さえた形にする) 教師「お腹がいたいですか」、子ども「はい」、教師「(イラストを示しながら)朝ごはんを食べましたか」、子ども「はい、食べました」、「(イラストを示しながら)トイレへ行きましたか」「はい、行きました」「じゃ、保健室に行きましょ」と言い、子どものペープサートを連れて退場する 保健室のイラストを示し、「保健室」と発音して聞かせ、Sにもリピートさせる。「エリスくんは、保健室へ行きます。大丈夫です」と言い、元気な子どものペープサートを示す。	ペープサート劇を見る Tの後について「ほけんしつ」と言う。
参考教案	子どものペープサートを動かしながら「おなかที่痛いです」と言い、Sにも言わせる。教師のペープサートをS1の前で動かし、「どうしましたか」と聞く。S1に子どものペープサートを持たせ、「おなかが痛いです」と言わせる。S2、S3にも同様にさせる。 「朝ごはんを食べましたか」「はい、食べました」、「トイレ	Tの後について「おなかが痛いです」と言う 子どものペープサートを持ち、教師のペープサートと会話する。「おなかが痛いです」 「はい、食べました」「はい、行きました」